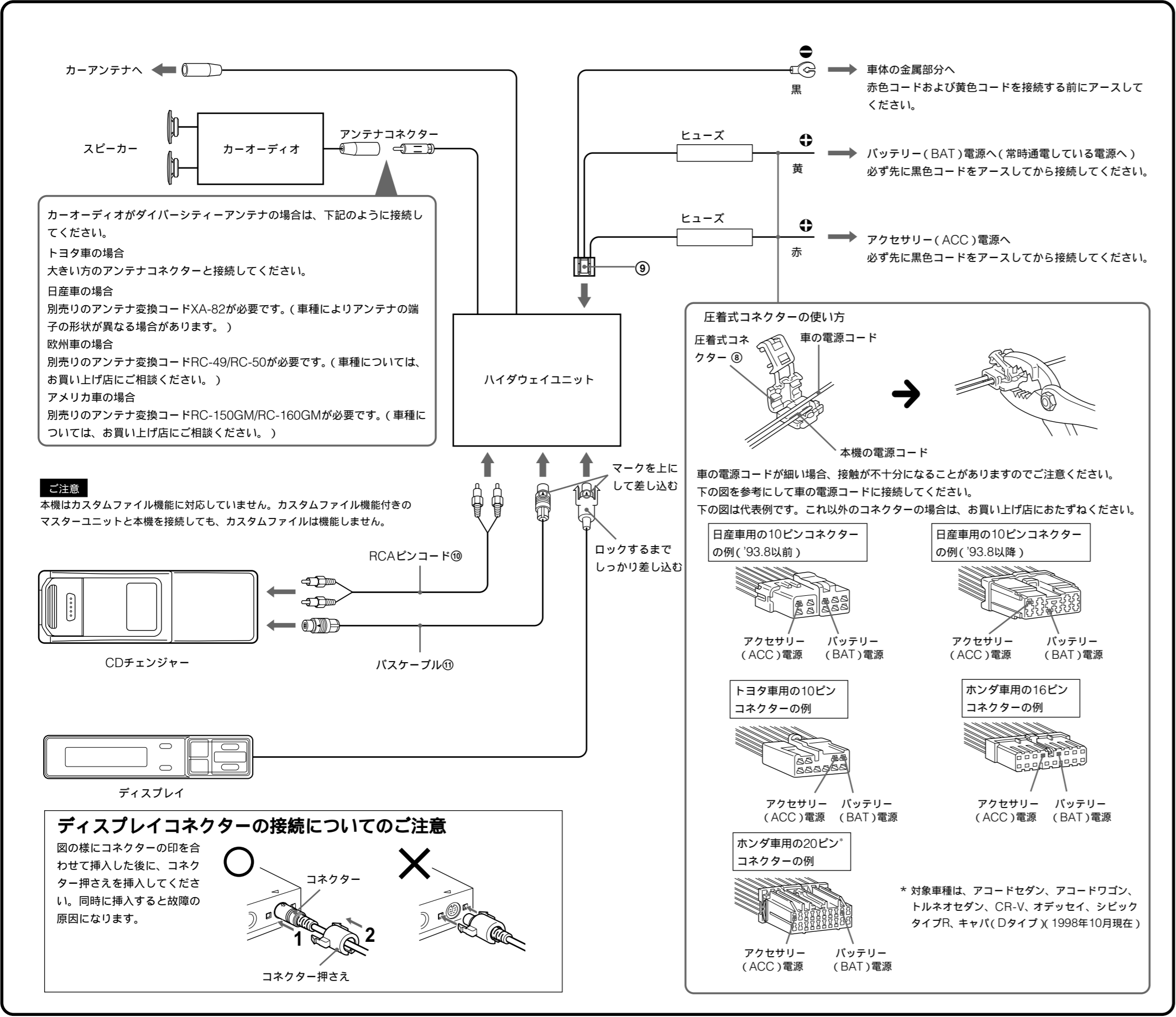


接続

必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
別売り品の仕様についてはカタログまたはお買い上げ店にご相談してください。



ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにしてください。

電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ（ACC）電源入力コード。 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ（ラジオ回路など）に接続します。
黄色コード	バッテリー（BAT）電源入力コード。 車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。ディスプレイのOFFボタン、リモコンのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード。 車体の金属部分に確実にアースしてください。

ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

警告 安全のために

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、
24V車で使用すると火災などの原因となります。



禁止



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付け

動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に働かず、けがの原因となります。



禁止



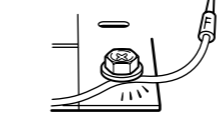
運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付け

運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をする、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。

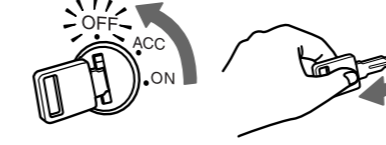


禁止



取り付け、接続作業をするときには、必ずイグニッションキーをOFFにするか、キーを抜いておく

イグニッションキーをONにしたまま作業をすると、バッテリーあがりや、ショートによりヒューズ飛びや発煙などの危険があります。



ステアリングやブレーキ系統、タンクなどにある車の性能を維持するための部品を使わない

車体のボルトやナットを利用するとき、ステアリングやブレーキ系統、タンクなどの部品を使うと、制動不能や火災の原因となります。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えたりすることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



禁止

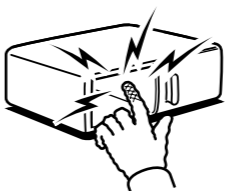


ディスク挿入口に手を入れない

内部で手をはさまれ、けがの原因となることがあります。



禁止



コンパクトディスク チェンジャーシステム

取り付けと接続

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この「取り付けと接続」および取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買い上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

CDX-525RF

Sony Corporation © 1999 Printed in Japan

取り付け/接続部品（付属）

- ① 取り付け台 × 2
- ② 取り付けネジ × 4
- ③ 取り付けネジ × 4
- ④ 取り付け台 × 2
- ⑤ フランジ付ナット × 4
- ⑥ 両面テープ
- ⑦ マジックテープ
- ⑧ 圧着式コネクタ × 2
- ⑨ 電源コード
- ⑩ RCAピンコード5.5m
- ⑪ パスケーブル5.5m

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客先相談センターへ

●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)6539-5111

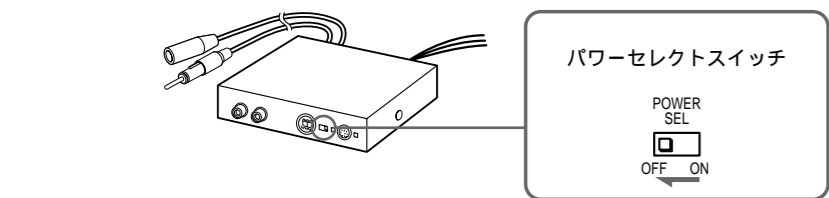


* 1 - 3 - 8 6 5 - 0 1 6 - 0 1 * (1)

初期設定が必要なスイッチ

パワーセレクトスイッチ

イグニッションキーにアクセサリポジションのない車でお使いになる場合、ハイダウェイユニット側面にあるPOWER SELスイッチをOFFの位置に合わせてください。POWER SELスイッチをONの位置のままでお使いになると電源が切れずにバッテリーが消耗します。POWER SELスイッチの位置を換えたときは、必ずハイダウェイユニット側面にあるリセットボタンを押してください。

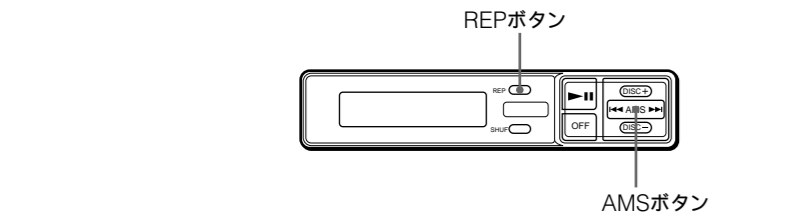


ご注意

パワーセレクトスイッチをOFFでお使いの場合は、停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を起動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▶ボタンを押してください。

送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、聞いている周波数にFM放送があるとCD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機からFMチューナーへ送る周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。



1 REPボタンを2秒以上周波数が表示されるまで押す。

2 AMSボタンを押して、周波数を選ぶ。
◀◀を押すたびに周波数は次のように切り換わります。

88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz →
88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz

▶▶を押すと逆順に表示されます。

3 最後にREPボタンを2秒以上押す。

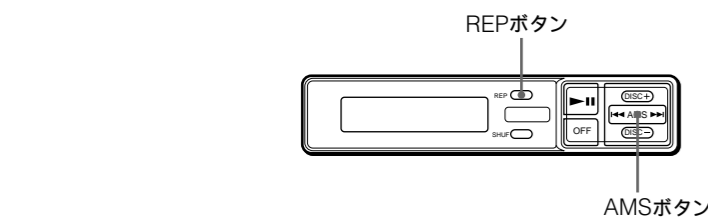
リモコンでも同様に設定できます。

ご注意

本機の周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。

出力レベルを設定する

FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベルを設定できます。ふつうは初期値で使いますが、必要に応じて切り換えてください。リモコンでも同様に設定できます。



1 REPボタンを2秒以上押す。

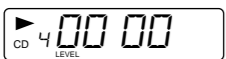
2 つづけてREPボタンを短く押す。初期値

3 AMSボタン押して、出力レベルを選ぶ。

◀◀でレベルが低くなります。



▶▶でレベルが高くなります。



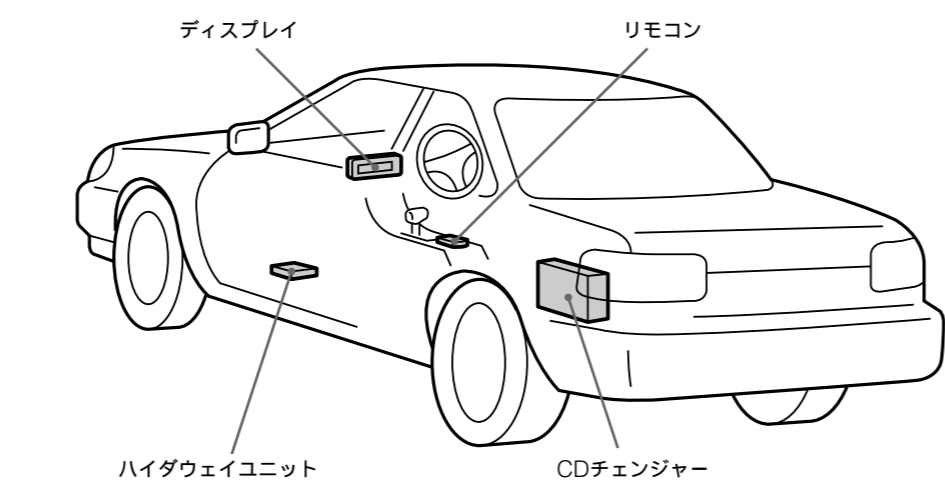
4 最後にREPボタンを2秒以上押す。

取り付け

取り付け場所

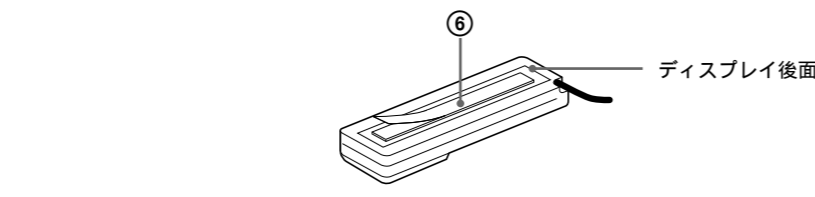
次のような場所に取り付けしないでください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所
- しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
- 配線コードやパイプが下を通っているところ
- トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
- ほこりの多い所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所



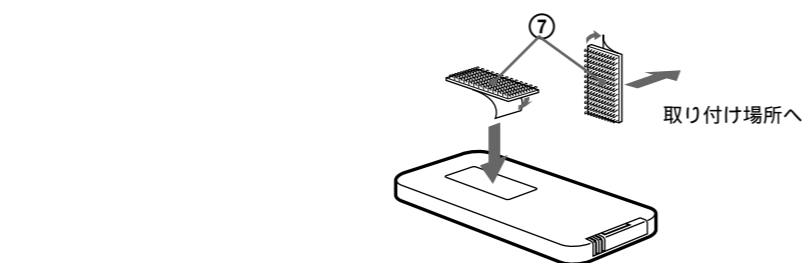
ディスプレイの取り付け

両面テープを貼り付ける場所をきれいにし、⑥で運転の妨げにならない、見やすい位置に取り付けます。



リモコンの取り付け

マジックテープを貼り付ける場所をきれいにし、⑦で運転の妨げにならない位置に取り付けます。

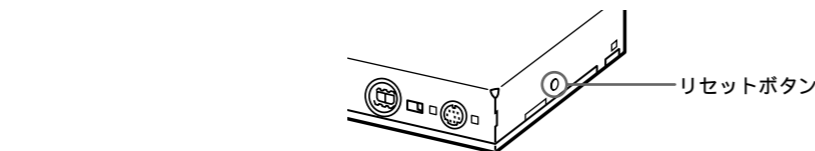


ご注意

取り付け位置を決める前に、リモコンでシステムが操作できることを確認してください。

取り付けと接続が終わったら

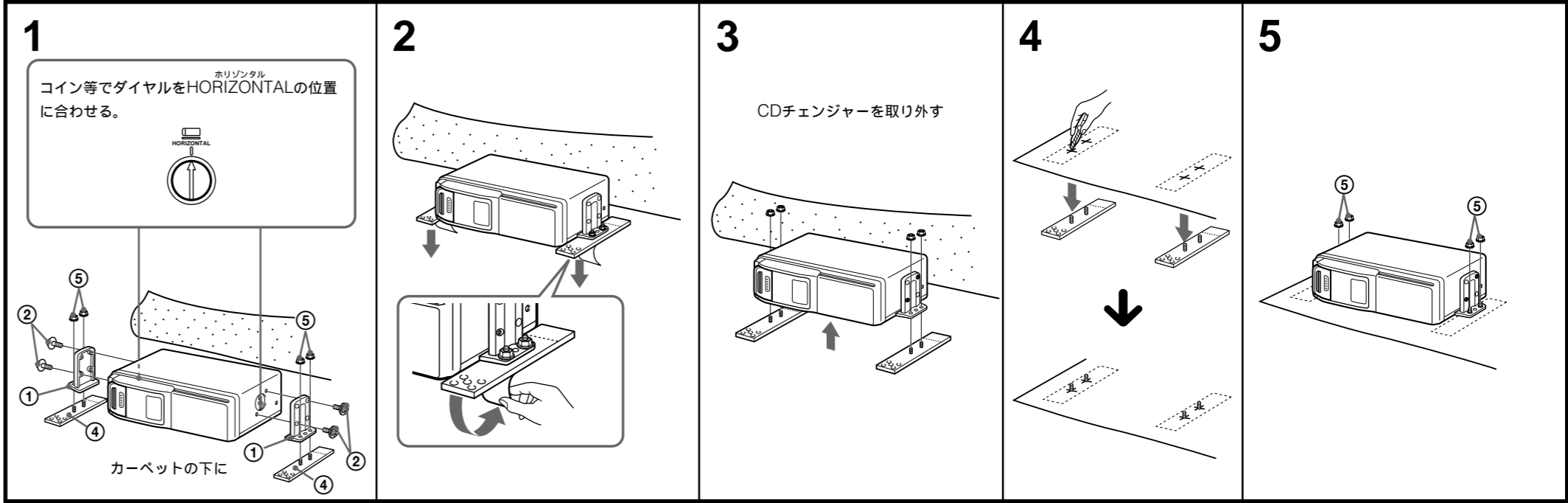
- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、ハイダウェイユニット側面にあるリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



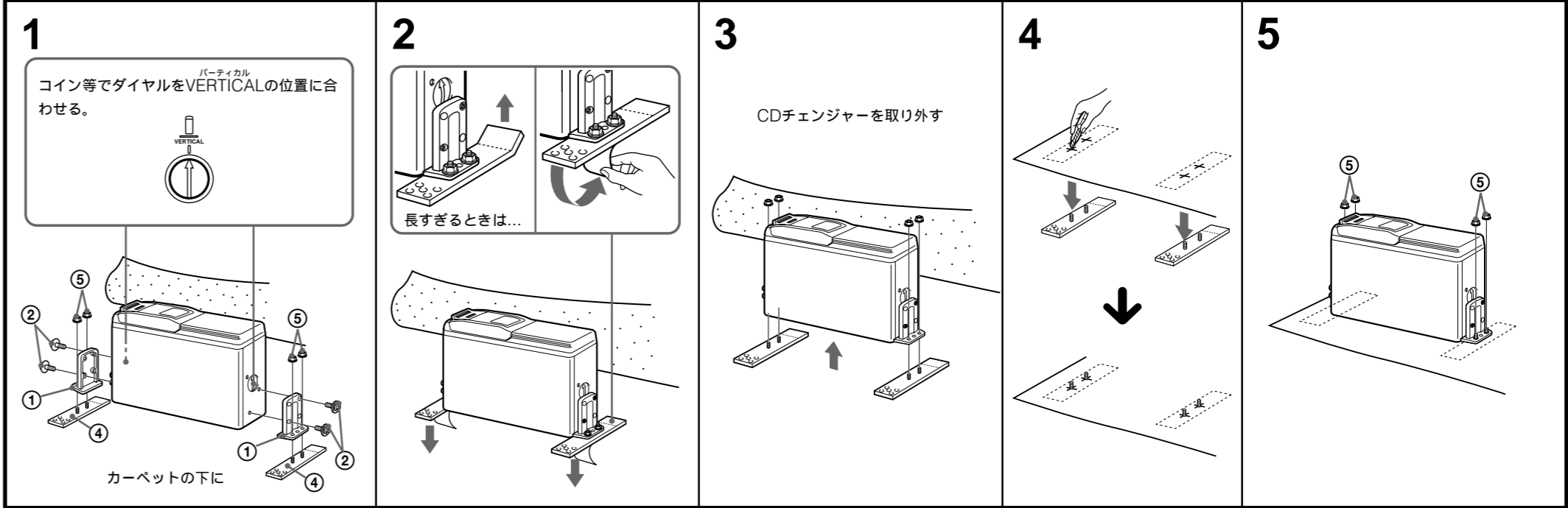
- 故障かな? と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?」をご覧ください。

CDチェンジャーの取り付け

横に置いて取り付ける場合

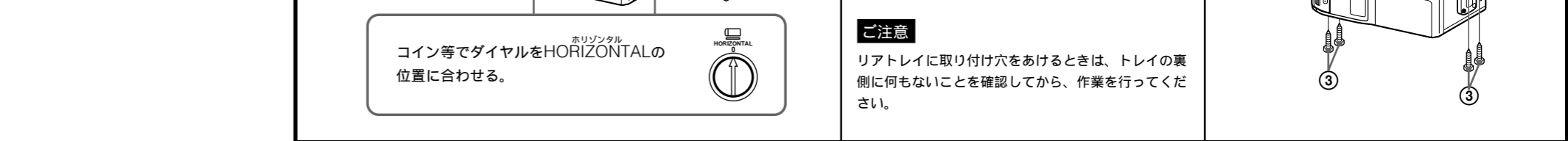


たてに置いて取り付ける場合



吊り下げて取り付ける場合

トランクルームのリアトレイ下等に吊り下げて取り付ける場合、以下の点にご注意ください。
• 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
• トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。



傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤル上には5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

